生徒会新聞

去る十一月一日(木)の午後から、地域への一斉奉仕活動に本校一年生全員が参加しました。クラスごとに高齢者の福祉施設や障がい者の福祉施設、保育園で清掃や交流活動をしてきました。どのクラスも事前に施設担当者と打ち合せをし、奉仕活動委員が中心となって準備を進めてきました。奉仕活動本番では、とても有意義な時間を過ごせたのではないでしょうか。今回の生徒会新聞は、各クラス代表生徒による体験作文をご紹介いたします。

《一組　高雄南保育園》

僕はこの奉仕活動の体験を通して、子どもとの関わり方や、掃除の大変さを知りました。掃除では、扇風機や窓、トイレの掃除を体験しました。普段の学校での掃除ではやらないことをやりました。大変でした。

園児とのふれ合いの時間では、一緒に楽しく遊び、良い時間を過ごすことができました。また、おとなしい子や元気な子など性格が一人一人全然違うので、接し方や遊び方など、その子たちに楽しいと思ってもらえるよう心がけて行動することができました。

掃除の時も、園児と遊ぶ時も、クラスのみんなが積極的に行動してくれていてスムーズに活動を進めることができました。保育園の先生も、園児も喜んでくれていたみたいで良かったです。この奉仕活動でみんなで協力できたことを学校の掃除でもできるようにすればよりきれいな環境で生活できて良いと思いました。

《二組　一期一会荘》

私は、一斉奉仕活動で一期一会荘を訪問し、交流会や清掃を行いました。交流会の時は、「楽しんでもらえるかな。」と直前まで心配でした。しかしそんな不安な気持ちはすぐに消えていきました。ジェンガやトランプで盛り上がり自然と笑顔で楽しむことができました。そして入居者の方の笑顔を見ることができたことが何より嬉しかったです。一時間近くあったはずの交流会があっという間に感じる程とても楽しく充実した時間を過ごすことができました。

その後の清掃はいつも以上に一生懸命取り組みました。私は窓拭きを行い、隅々まで丁寧にということを意識して頑張りました。

これらの活動はとても有意義なものになりました。また、福祉やボランティアにも興味が湧いたので、一度調べてみたり機会があれば参加してみたいと思いました。

《三組　太郎と花子》

この太郎と花子という施設では、老老介護になってしまった人や、事故や病気で一人では暮らせない人などさまざまな人と、歌や折り紙などを使って交流したり、介護やリハビリの体験など様々なことを学ぶことができました。折り紙での交流は、しっかり説明しながら折るだけでなく、色々なことを話してコミュニケーションをとることができました。また、普段当たり前にできていると思っていたことでもできなくなってしまうということを聞いてすごくこわいなと思いました。介護・リハビリ体験では、施設で働く人の仕事について普段では学べないことをたくさん学ぶことができました。こんなにたくさんのことを体験して学ぶことができると思っていなかったので、奉仕活動としてこの施設にいくことができてよかったなと思いました。また、このことをこれからの高校生活やその先の進路などにも生かしていきたいです。

《四組　柏森保育園》

私達一年四組は柏森保育園で奉仕活動をさせて頂きました。主な活動は園庭の掃除と園児と遊ぶ事でした。私は室長ということもあり初めの挨拶をして欲しいと告げられました。私はあまり年下の子と関わった経験が無く、思うように言葉が出て来ませんでした。そして園児と遊ぶ、となった時も自分から声を掛けることが多くは出来ませんでした。しかしクラスメイトが自分から声を掛けている姿を見て自分が今出来る事にはどんな事があるのか自分自身に問いかけ、引き下がって悩んでいるだけではなく一歩踏み出しました。その一歩で沢山のやる事を見つける事が出来ました。とても少ない時間の中で手の足りていない所に自ら進んで行動する事が出来、この活動を通じて自分を見つめ直し臨機応変に行動する事の大切さを学びました。

とても貴重な体験、奉仕をさせて下さった柏森保育園の皆さん、先生方、そしてクラスのみんな本当にありがとうございました。

《五組　大口中保育園》

僕たち一年五組は大口中保育園に行きました。そこでは最初に外遊びをして、その後にグループで部屋遊びをしました。最後は清掃を行いました。外遊びの高校生からは、話しかけないと仲良くできなくてとても大変でした。高校生側が鬼ごっこやサッカーなど企画していたらもっと楽しく時間を過ごすことができたのかなぁと思いました。

部屋での遊びのときは、最初から仲良く遊ぶことができました。ですが、部屋でやろうと思っていた自分たちの計画は、あまりうまくいかないで、結局部屋にあったおもちゃで遊んで終わってしまったので、もっと計画をしっかりと立てていくべきだったと思いました。プレゼントとして作っていったこまは、とても喜んでくれて、たくさん遊んでくれたので、とても嬉しく、作ってよかったと思いました。

《六組　御桜乃里》

僕たちのクラスは普段あまり行かない老人ホームへ行きました。行く前はご年配の方に何を行ったらよいのかと試行錯誤し各グループの出し物を考えました。また、その出し物を行うために総合学習の時間だけでなく、授業後や家へ帰ってからも準備をしているグループもありました。

そして当日は、一人一人が担当する場所をしっかり掃除を行うことができ、交流活動では各グループが今までやってきた準備の成果を発揮しつつみんな楽しそうに交流活動をしていました。

この一斉奉仕活動を通して、一つのことに向けて協力する大切さや自分自身で考えて行動することの重要さを学ぶことができ、とても有意義な時間を過ごすことができました。この一斉奉仕活動で学んだことを今後の学校生活に生かして行こうと思います。

《七組　ふそう福祉会たんぽぽ》

私は「たんぽぽ」という障がいのある方がいらっしゃる施設とその方々が従業員として働いている「ベーカリーたんぽぽ」へ行きました。「たんぽぽ」では班ごとに出し物をして私の班は楽器演奏をしました。また「ベーカリーたんぽぽ」では掃除を行いました。私がこの体験をして感じたことは、一生懸命伝えようとしていることです。「たんぽぽ」にいた方々はあまり言葉を喋ることができないのですが、全体ですが、表情少なく言葉を見て、私はこのようなことがあるのかと気持ちを受け止めて相手に合わせて対応をすることで話が通じるのかと思いました。最後に、私たちが障がいのある方々と私たちがつながるのではないかと思いました。

《八組　大口北保育園》

一斉奉仕活動の準備のとき、みんな最初は話を聞いてくれなくてなかなか進みませんでした。しかし、本番が近づくにつれてそれぞれのグループが準備を進め、なんとか間に合うことができました。当日は、少し予定と違い時間の変更があり戸惑うことがありましたが、各班の人が協力しあい楽しく園児と交流することができ、とてもよい一斉奉仕活動になりました。その中の清掃では、日々園児や保育士の方々がどれだけ大変なことをしているかが分かりました。交流では、外では砂遊びや、ドッチボール、鬼ごっこなどで元気よく遊ぶ園児と触れ合い、清々しい気持ちになったと同時に楽しむことができました。しかし、少し疲れてしまいました。なので毎日園児たちの相手をしている保育士の方はとてもすごいと思ったのと、子どもが大好きなんだなと感じました。この一斉奉仕活動を通して、触れ合いの大切さが分かりました。最後になりますが、場を設けてくださった大口北保育園のみなさんに感謝をしています。